

嘉納治五郎

かみなとごろう

講道館柔道開祖、

教育家。

萬延元年十月二十八日

攝津國灘生れ、

昭和十二年五月四日歿（一六〇—九三）。

號歸一齋、進

字齋。東京大學卒。

明治十五年學習院教授となり、東京下谷（道場開

設。第五・第一高等中學校校長を経て、三十年高等師範學校校長、

大文部省普通學務局長と務めた。四十一年國際オリンピック委員、四

十四年大日本體育協會初代會長。貴族院議員。

著書 『折學汎論』

（合著・菅野幹編輯并評、明治二十年十月

林竹（二郎）上田捨吉

刊、大阪・折學書房）、

『少年訓（第壹集）』

（合著・山縣悌二郎編、

明治二十二年八月十九日内外出版協會）、

『吉田松陰』

（合著・帝國教育會編、明治四十一年十一月）

『嘉納先生教育

功勞記念會誌』

（昭和十一年二月二十一日嘉納先生教育功勞記念會）、

『賀茂屋著』

『嘉納治五郎』

（昭和十九年二月十八日同光社）刊。

